

令和6年度 上小農業青年クラブ プロジェクト活動・意見発表会を開催しました

青年農業者が、課題解決のために実践してきた取組の成果と、日頃抱いている夢や想いを発表することにより、農業者としてのスキルアップを図るため、12月19日に上田合同庁舎講堂にて標記発表会を開催しました。

農業青年クラブ員や新規就農者、関係者など約50名が参加しました。

発表会は、意見発表の部とプロジェクト活動発表の部があり、今年度は計4名の青年農業者が発表しました。

意見発表の部で最優秀賞を受賞した、東御市農業青年クラブの武舎秀一さんは「変わるもの 変わらないもの」を題に、団体活動への参加の必要性や地域の農業に対する思いについて発表されました。

プロジェクト活動発表の部で最優秀賞を受賞した、東御市の菰田央さんは「ぶどう栽培における農福連携」を題に、農福連携の実践と取り組む中での工夫などについて発表されました。

また、当日は研修会も開催し、上田市真田地域でトウモロコシなどを栽培し、直売所「みどりの大地」を運営されている、大久保昌則さんより「私達の経営改善の取り組みについて」と題し、御講演頂きました。

なお、最優秀賞を受賞された2名は、令和7年2月12日に中野市で開催される「令和6年度明日の長野県農業を担う若人のつどい」へ上小地区代表として発表して頂きます。



意見発表の部最優秀賞受賞の武舎秀一さん



プロジェクト発表の部最優秀賞受賞の菰田央さん